

社会福祉法人 自立の家

(障害福祉サービス事業・地域生活支援事業・有償介助サービス事業)

令和2年度（2020年度）事業計画

I 法人の基本方針

当法人は、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、地域社会において自立した生活を営むことができるよう支援する。利用者の意向を最大限に尊重して、多様な福祉サービスを総合的に受けられるよう創意工夫をしていく。

II 今年度目標

組織運営

目標1 社会福祉法人運営へのさらなる取り組み

法人一丸となり、法に則つとり適正な運営を進めていく

- ガバナンス強化
- 財務諸表等、法人の情報開示を強化
 - ・ ホームページを活用していく
- 効率的な各会議の開催
- リスクマネジメントへの対応

目標2 世田谷区社会福祉法人地域公益活動協議会への参加

社会福祉法人が地域への貢献を考える上、当法人で可能な事業を引き続き検討

- 「なんでも福祉相談」への対応
- 研修会等協力体制の構築

目標3 災害に対する備えを強化する

全従業員の防災意識を高め、災害時の被害をできるだけ減らす

- 危機管理マニュアルの見直し
- 必要物資の確保
- 救命講習や災害に関連した研修会の実施
 - ・ 震災シンポジウムの共催
 - ・ 他団体と連携し、地域の防災計画について考える
 - ・ 救命講習・応急処置の研修会の実施

目標4 地域交流の拡大

地域に根付いた法人を目指すため、地域交流への参加を目指す

- 雑居まつりへの参加を継続する。
 - ・ 様々な障がいのある方とのコミュニケーション方法の体感
 - ・ 法人の活動紹介や、利用者・ヘルパー募集の呼びかけ
- 地域の区民センターとの情報交換の機会を増やす

目標5 働きやすい職場環境を整える

人材不足のため退職者・離職者を出さず、従業者にとって働きやすく長く続けられる職場環境をつくる

- 育児休業取得支援から、その後の職場復帰支援を行う
- 行動計画の運用
- 働き方改革関連法への対応を進める

ヘルプ事業

目標1 利用者への充実したサービスを提供

利用者が求めているニーズに答え、制度に沿ったサービスの提供を目指す

- 他事業所との連携、協力体制の強化
- 緊急対応、情報交換の強化
- 行政、相談支援事業との連携・情報交換

目標2 体験室の運営・利用

新たに設置した体験室を整備し、自立生活に向けた経験を、当事者・ヘルパーがお互いに深めていけるようにする

- 宿泊体験をし、親元を離れた生活の体験を行う
- 家族のレスパイト
- 日中利用や短時間利用の提供

目標3 従業者の確保・定着・育成

- 従業者の職場定着
 - ・ 新規登録ヘルパーの募集を強化
 - ・ 従業者への研修・交流会を定期的開催
- 定期的な昇給や評価を含む、賃金制度の整備・運用
 - ・ 毎月の利用実績の確認
 - ・ 少人数による事務作業の効率化を目指す
- 研修会の企画・実施
 - ・ 個別研修を行い、全体的なスキルアップ
 - ・ 利用者・従業者に向けた、身体障害・知的障害・精神障害についての研修
 - ・ 同行研修を終えた従業者に対する、フォローアップの強化

目標4 感染症予防対策

- ・ 感染症予防策に関する情報収集と周知
- ・ 感染症に関する研修会の開催
- ・ 健康診断の呼びかけと予防接種の実施
- ・ 事務所内における備品管理の徹底

中期目標

安定した法人運営を目指す

- 利用者のニーズに最大限応え、利用時間を増やすことで、財政基盤の強化へとつなげていく
- 利用者と共に自立生活について考え、宿泊体験所を活用しつつ、様々な課題を発見・克服していく
- 特定相談支援事業の開設を検討する

長期目標

家族の高齢化により、利用者のライフスタイルが維持できなくなることを防ぐため、新規事業の展開を目指す

- 地域で利用者が望む生活を維持していけるような暮らし方として、ショートステイやグループホームの事業展開、シェアハウスの提案を行う
 - ・ 利用者が将来望むライフスタイルの確認
 - ・ グループホームやシェアハウスの見学
 - ・ 講演会や研修会への参加